

耳鼻咽喉科

(スタッフ)

部長 : 藤田 佳吾
副部長 : 岩崎 太郎
嘱託医 : 伊東 和恵 (2017. 2月まで)
後期研修医 : 木津 有美 (2017. 3月から10月まで)
 : 赤嶺 苑佳 (2017. 11月から)

(診療実績)

1. 外来

外来診療は月・火・木・金曜日の午前中を基本としており、これ以外可能な限り時間内・外を問わず診療を行っています。水曜日午前中は月に2回、補聴器の相談外来を、火・木曜日の午後は外来小手術や聴性脳幹反応などの特殊検査を行っています。

2017年の外来新患数は2,019人(そのうち紹介数は1,258人)、延べ外来患者数は9,540人(1か月平均は795人)でした。

2. 入院

耳鼻咽喉科の入院病床数は24床であり、2017年入院患者延べ数は7,112人(1か月平均:592人)でした。この平均在院日数は10.8日でした。

3. 手術

手術は月・金曜日午後、水曜日終日の手術枠で行っています。2017年に手術室で行った全身麻酔下手術が371件(そのうち207件は複数の手術を同時施行)、局所麻酔下手術が数件でした。1か月あたりの手術件数平均は31件であり、主だった手術内容は口蓋扁桃摘出・顕微鏡下喉頭微細手術・頭頸部がん手術・内視鏡下鼻副鼻腔手術・頭頸部良性腫瘍手術でした。また、手術室外では耳鼻咽喉科外来にてリンパ節生検や各種小手術、各病棟にて気管切開などを総じて100例以上施行しています。

表に主な手術内容詳細を提示します(注:左右手術は1例とカウントしました。また、同日に複数の手術を施行する場合もあり、上記手術総件数よりも多い例数となっています)。

4. 頭頸部がん患者

2017年に治療を行ったがん患者数は70例(新たに発見・治療された新規がん患者は48例)でした。内訳は聴器がん2例、鼻副鼻腔がん7例、口腔がん11例、咽頭がん15例、喉頭がん12例、甲状腺がん8例、唾液腺がん8例、その他の頭頸部がん6例でした。これら頭頸部がんに対する治療としては、手術33件(複数同時手術あり)、放射線治療単独または放射線化学療法27件、化学療法13件でした。

(今後の方向性)

1. 基本方針

『手術可能な耳鼻咽喉科施設』が基本的姿勢であり、頭頸部の良性疾患からがんまでを守備範囲とします。

また近年、頭頸部がんにおいては、放射線療法・化学療法・手術療法を組み合わせた集学的治療によって、治療効果の改善を目標とするとともに、拡大手術から縮小手術への転換も一つの治療指針としています。

今後も手術治療を主とする耳鼻咽喉科として、質の高い医療を提供することを目標とします。

(文責:藤田佳吾)

鼻科学		件数
	内視鏡下鼻副鼻腔手術	120
	副鼻腔根本術	1
	鼻中隔矯正術	17
	下甲介手術	15
	鼻副鼻腔良性腫瘍手術	10
	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術	1
耳科学		
	鼓室形成術	0
	先天性耳瘻孔摘出術	11
	鼓膜換気チューブ留置術	33
口腔咽頭科学		
	口蓋扁桃摘出術	107
	アデノイド切除術	31
	口腔良性腫瘍切除	1
	口腔悪性腫瘍切除	7
	咽頭良性腫瘍切除	5
	咽頭悪性腫瘍切除	2
喉頭科学		
	喉頭直達鏡手術	33
	喉頭悪性腫瘍手術	1
	気管切開術	30
頭頸部外科学		
	耳下腺良性腫瘍摘出	10
	耳下腺悪性腫瘍手術	5
	顎下腺(良性腫瘍)手術	8
	唾石摘出術	2
	甲状腺良性腫瘍手術	4
	甲状腺悪性腫瘍手術	5
	頰嚢摘出術	5
	頸部郭清術	21